



人間が動けるのはどうして

からだ うご 体を動かしているのはほね きんにく

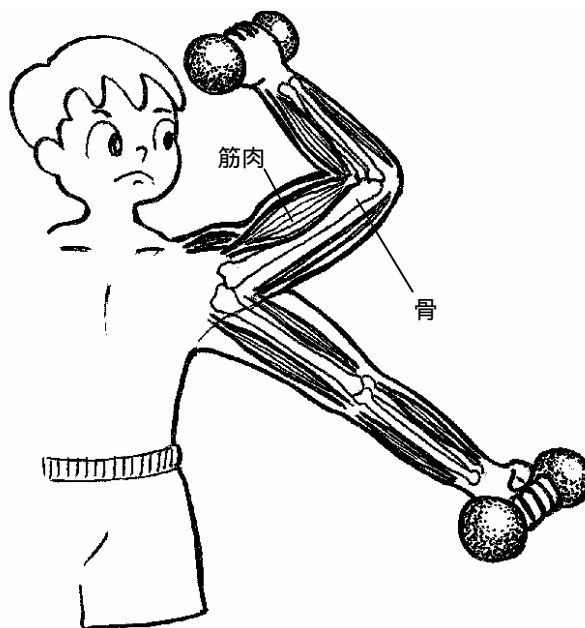
人間にんげんの体からだを動かうごかすために必要ひつようなものは、骨ほねと筋肉きんにくです。

体からだの曲まがる場所は、骨ほねと骨ほねがつながって

いるところで、関節かんせつになっています。

手てや首くび、かた、ひざ、またなど、人にん間の体からだの動うごくところには、全部ぜんぶ、この関節かんせつがあります。

この関節かんせつには、いろいろきんにくな筋肉きんにくがついており、筋肉きんにくが、のびたり縮ちぢんだりすることによって、それぞれの骨ほねは、この関節かんせつの部分ぶぶんで動うごきます。関節かんせつがちょうつがいのようなはたらきをし、関節かんせつの部分ぶぶんが動うごくから体からだが動うごくといえます。



人間が動けるのは脳のはたらき

体からだを動かうごかすための筋肉きんにくののび縮ちぢみの運動うんどうは、脳のうからの命令めいれいで行おこなわれます。

脳のうは体からだをどう動うごかすかの判断はんだんをして、どの筋肉きんにくをどのように動うごかすかの命令めいれいを、いっしゅんのうちに出だしているのです。

人間にんげんが動うごけるのは、脳のうがいろいろはんだんな判断はんだんをしたり、命令めいれいを出だしたりしているからで、筋肉きんにくや骨ほねが、勝手かってに動うごいているわけではありません。(監修・保志 宏)

